令和 6 年 11 月 11 日

各　　位

株式会社　赤阪鐵工所

廃食油でバイオ燃料を製造
代替燃料の安定供給へ向けて

船舶の脱炭素化に向け、代替燃料への移行が検討される中、その候補の一つであるバイオディーゼル燃料（BDF）は、既存のディーゼルエンジンを改造することなく使用できること、燃料タンクの容量が重油と同程度であること、重油に混合することが可能なことなどから、現実的な次世代燃料として注目されています。こうした中、昨年当社は BDF を製造・販売する新規事業を立ち上げ、この度、廃食油から BDF を精製するプラントの建設が完了したことにより、11 月 8 日に始業奉告祭を行いました。今後当社は実際に製造した BDF の品質を確認するなどの製造上のプロセスを経て、順次販売を開始する予定にあります。現在、船舶向けをはじめ、業務車両向け、建設機械向けなどへの供給について具体的な協議を進めており、様々な業界での需要を見込んでいます。また今後当社は計画的に製造量を拡大していくことにともない、商船・漁船・官公庁船など船舶への供給を更に強化し、業界の脱炭素化に貢献したいと考えています。

昨年夏、国際海運における温室効果ガス（ＧＨＧ）排出削減目標が「2050 年ごろにＧＨＧネット排出ゼロ」に決定しました。これに対して水素、アンモニアなどの代替燃料に対応したエンジンの開発が進められています。こうした中、当社は、カーボンニュートラル燃料として認知され、近年注目度が高まっている、廃食油から精製するＢＤＦに着目しました。一般的に、廃食油は家畜飼料用の原料としての需要があるため、ＢＤＦ向けに一定量を確保することは困難でしたが、廃食油を安定的に確保するめどが立ったため、ＢＤＦ製造事業を立ち上げることを決めました。廃食油由来のＦＡＭＥ（脂肪酸メチルエステル）と称されるＢＤＦの中でも、エンジントラブルを誘発せず、信頼性が高い高純度ＢＤＦを製造・販売する計画であり、ディーゼルエンジンメーカーが提供する信頼性の高いＢＤＦとして、燃料の価値を高めていきたいと考えています。

海運業界の顧客からは、脱炭素化に対して、既存エンジンの仕様を変更することなく使用できる BDF への期待が多く寄せられており、当社は BDF の供給課題を解決できれば、脱炭素化への有力な手段となることをにらんで、自ら供給に参画するものです。

以上